



# 広報 なかわだ

## 第 380号

### 7月の予定

- 教会委員会 7月 9日(土)
- 信徒の会 7月 17日(日)
- 子どもと共に捧げるミサ 7月 24日(日)
- ガーデンパーティ 7月 30日(土)



( Saint Veronica Giuliani )

## 2011年 7月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 7 月 3 日

## 聖ヴェロニカ

主任司祭 小林 陽一

カトリック信者の生き方や生きる目標は、350年前も今も変わらぬ側面があり、一人の聖人の一生をたどっていく時、主を求める迫力ある生きざまは、人の目に付かない所で光って、消えません。

聖ヴェロニカ・ジュリアニは、1660年、イタリアのメルカテロという町のある信者の7人の子供の末っ子として生まれました。母は信心深く、この母に似たヴェロニカは3歳の頃から家庭祭壇の前で祈っていました。草花を摘んできては祭壇の聖母マリア様の御像に捧げました。4歳の時母を失い、姉とも死に別れた境遇となりました。体を悪くした母は、臨終の前に、ヴェロニカに「つらい時はイエス様におすがりするのですよ」と言って、十字架を指し示しました。幼いヴェロニカはそれを忘れず、そして聖カタリナとリマの聖ローザを生活の手本として、質素な食事と粗末な衣服で過ごし、住まいも貧しい所で暮らしました。数多い縁談を断り、聖クララ修道女会への入会志願を父親に申し出て許され、修道院での毎日を過ごすようになりました。修道院内の手仕事、台所の仕事、クリーニング、門番、香部屋の仕事、病者の看護などに聖ヴェロニカは忠実に奉仕しました。



1697年の聖金曜日、聖ヴェロニカが御受難のキリストを黙想していると、十字架上のイエスの五つの聖痕から強い光が出て、ヴェロニカの両手、両足、脇腹を貫き、主と同じ五つの傷跡をしりました。キリストの受難による苦しみを願い、修院の中で人知れず苦しみ、十字架上のキリストの痛みを罪人が回心するための犠牲として受け止めました。修道院の中で主イエスに仕えて50年、67歳の聖ヴェロニカは、突然中風にかかって半身不随となり、一ヶ月間病苦を忍び、主の思し召しのまま帰天されました。聖ヴェロニカ・ジュリアニは、イエスに布を差し出したあのヴェロニカのように、「苦しむキリスト」の友として一生を送りました。記念日は7月9日です。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	金	イエスのみ心	初金ミサ(10時)	掃除
2	土		主日ミサ(18時)	
3	日	年間第14主日	主日ミサ(9時)	
9	土		主日ミサ(18時)	掃除
10	日	年間第15主日	主日ミサ(9時)	サロン
16	土			掃除
17	日	年間第16主日	主日ミサ(9時)	
23	土			掃除
24	日	年間第17主日	子どもと共に捧げるミサ(9時)	ミサ後掃除(CD地区)
30	土			
31	日	年間第18主日	ミサ(9時)	

## 納涼ガーデンパーティのご案内

相互親睦と、近隣の方々との交流を深め、  
そして、暑い夏を吹き飛ばすため、納涼ガーデンパーティを、昨年と同様に企画しました。  
奮ってご参加下さい！



- 日時：7月30日(土) 午後6時～
- 場所：中和田教会前庭(雨天の場合は集会室)

※駐車スペースがありませんので、車はご遠慮下さい  
<主催： 教会委員会 信徒の会>

# 祭壇・会衆席改修工事報告NO2

「神さまから中和田教会へのプレゼント」

## 中和田教会建物を考える会

今回は什器についてご説明いたします。

(写真と見比べながらご覧ください)

- ◆祭壇の十字架＝現在の十字架に「キリスト像」を取り付けました。キリスト像はドンボスコ社90cmの復活のイエス様(イタリア製)を購入し、取り付けはナザト大川様にお願ひしました。
  - ◆祭壇＝タモ材使用、両サイドは市松模様で飾り(光が当たると綺麗です)中央にはキリストのシンボルP x と葡萄と麦を表現しています。市松模様とは、歌舞伎で使われた、黒と白の四角形を交互に並べた模様。
  - ◆朗読台＝祭壇と同様市松模様で飾られ、台の上部は「クルリと回る」使用になっています。目的は、ミサが終わった後聖体訪問者に福音を知らせるためです。また台の内側には、子供用段が設けられ必要の時は、手で調整できます。
  - ◆座長席＝背板に十字架のしるし、座席には硬質クッションレザー貼りが施されています。
  - ◆侍者席＝司祭椅子と合わせた物で座席の下には物置台が付いている。そして結婚式には「新郎・新婦」が座れるように配慮してある。
  - ◆会衆席＝長椅子で四人掛けに設計してあります。座席には硬質クッションレザー貼りが施されています。座席の下には物置台が付いています。背もたれの後ろには聖歌集が入る棚と聖書と典札が置ける程度の台があります。重量は、青年が一人で運べる重さとしています。聖堂を多目的で使用する時には、荷台を外し(怪我防止のため)、二人で運んでください。また、結婚式が行われる場合には、中央通路をバージンロードとし、椅子の横に花飾りができます。
  - ◆祭具卓＝従来の物よりコンパクトにし、棚を作っていたできました。
- その他**
- ◆聖櫃＝久我神父様の指導もあり、ローマミサ典札書総則にのっとり、内陣右側に設置いたします。
- 大川さんからのプレゼント**
- ◆復活のローソク台＝現在の物は三本の釘でローソクを支えている形なので、ローソクが入れづらい。新規の物は木製でローソク台は円形のもので入れ易くなりました。
  - ◆入・閉祭台＝入閉祭台は入祭と閉祭時に使われます。祭



十字架に取付けたイエス様



祭壇 両サイドは市松模様 中心はイエス・葡萄・麦



入・閉祭台



朗読台 両側に市松模様



司祭椅子



祭具台



会衆席裏面 (棚は聖歌集等入れ)



朗読台 子供用に踏み台が引き出



告解部屋椅子



バージンロード 花飾り



会衆席 (四人掛け用)

壇は感謝の祭儀に、言葉の祭儀は朗読台で行うこととなります。

◆告解部屋＝信徒席側に椅子を新設していただきました。この様に、いろいろなお配慮により出来上がりました物です。皆で大事に使いましょう。

「大川様に感謝」そして「中和田教会の皆様へ感謝」し、祈りの場として、皆が集い、祈りが捧げられ、信仰が伝えられ、愛が証される、教会となりますように。

## 『信徒の会』例会だより

(6月19日 22名出席)

小林神父様もご参加くださり、22名が集いました。

簡単な委員会からのお知らせなどがあつた後、7月30日(土)夕方に開催が決まった「納涼ガーデンパーティー」について、どんなお手伝いができるかお話し合いをしました。

聖堂改装にご尽力くださった大川様をはじめ、ご近所の方々、カトリック教会を含めた近隣教会の方々、信徒のご家族の方々、ベトナムの方々、当日ちょうど一泊中高生会をしている中高生の方々…。大きな交わりの輪ができそう楽しみです。

その後は、ここしばらく続いている「介護」のテーマで、かつてデイケア施設で勤務しておられた中島さんが、地域ケアセンターでのデイケアに関わる中で感じてこられた事

を、実に説得力のある内容でお話いただきました。中でも私たちが心すべきこととして、

- ①食べ物の好き嫌いの多い人は早く機能が退化しやすい。日常生活を大切に。
- ②性格は変えられなくても、ありのままでもいいが、「ありがとう」「ごめんなさい」そして互いの挨拶の言葉が自然に出てくるのが自他をよい関係に保つ秘訣。

この二つのことが心に強く感じとれました。来月は、異なったテーマからの、分ち合いを計画しております。みなさまのご参加をお待ちしています。

(小野 雅彦、 岩崎好愛)



## バザーのお知らせ

先日、バザー委員会での話し合いの結果、概ね次の様に決まりました。

- 日時： 2011年10月30日(日)
- 場所： 中和田カトリック教会(内・外)
- 内容： 食堂、雑貨品、手作り品、委託品、他

少しずつ、準備を進めておりますが、今年も楽しいバザーになりますように、皆様のご協力をお願い致します。

※編み物愛好の方たちが出店作品づくりをします。興味やご協力のお心のある方は、ご参加ください。7月から第1と第3火曜日、10時から行っています。

※雑貨品につきましては、新品に限り、9月から集める予定です。

## 総務からのお願い

教会法務上、信徒籍台帳(信徒記録票)に洗礼、堅信、婚姻の日付と、台帳番号の記載が必要です。

■記載されていない信徒につきましては、関連情報を総務担当よりお電話でお伺いさせていただくことがあります。その節はご協力の程宜しくお願い申し上げます。

■また関連情報につきましてははっきりしていらない場合は、主任司祭(小林神父様)のご承認をいただきまして、各関連教会へお問い合わせをさせていただきますのでご了解をお願い致します。



### 湘南キリスト教セミナーに参加して

村松ふさみ

思いもかけない震災から3ヶ月目の6月11日(土)、湘南キリスト教セミナー「愛が伝わるかかわり方」と題する講演会(鍛冶ヶ谷教会)に参加することが出来ました。

心優しいSr.小野のお話は、大変わかりやすく、素晴らしい講演でした。対話法、聴く、話す、対立を解く訓練講座があり、その後二人一組になり、相手の方と交互に自分の今の生活を手短かに伝えるという実習も致しました。

能動的な聴き方をすること、共感性をもって相手の気持ちを汲みながら表現すること等の大切さを、具体的に例をあげての説明、また、子供が種々の問題を抱えているとき、親は心の余裕をもっての会話で接しながら解決することが望まれるなど、なかなか難しいけれど、大切なことばかりでした。大変有意義な、奥の深い内容でした。

少子化の現在は、父親も熱心に教育に参加することも多いことと思いますが、大切な子供達に安心感を持たせながら、ゆっくり向き合う時間も、親子の対立を上手に解決する機会かもしれません。

このような講演に参加させて頂き、反省することも沢山ありましたが、勉強になり、心から感謝しております。

### 第56回 NRC全国大会に参加して

石川雅子

NRC(日本鉄道カトリックの会)今年は熊本にて5/27~29の3日間開催されました。「共に生き 伝える」をテーマとして。

初めての地熊本へ。空港より麦秋の心地良き風を受け宿泊先の穂とるに到着。夕食後オープンセレモニーにて聖歌、聖書朗読、参加者紹介等再会を暖め合いました。

2日目、3日目手取教会、島崎教会にて9時よりのミサに与り、年次の総会議事等。2日目の午後は夫々に熊本城散策。3日目の午後天草へ。天草四郎講演 天草五橋を渡り、宿泊先の旅館へ。夕食時天草の夕照に息をのみ、翌日は大江天主堂、崎津天主堂で主任神父様より説明、お祈りと、心に残る4日間を過ごすこと事が出来ました。

来年の開催地は東北地方でと決まりました。

聖主にあって共に存るよろこびを分かち合う良き機会でもあります。ご検討をお待ち申し上げます。

### 湘南キリスト教セミナーを受講して

大宮ひとみ

先日、鍛冶ヶ谷教会で行われたセミナーを受講してきました。講師はイエズス孝女会修道女の小野恭世先生。テーマは『愛が伝わるかかわり方』。カウンセラーでもある小野先生は、親業訓練講座の三本柱のひとつ『聴く』という観点から、『効果的な聴き方』をロールプレイを交えて教えていただきました。

セミナーでは、親が子供に対して言ってしまうがちな「みんなやっているのだからやらないさいよ!」という命令的な言い方、説教、提案などの『12の障害』、相手の話を引き出すために沈黙や相槌をうつ『受動的な聴き方』、相手の言葉を繰り返す・言い換えるなどの『能動的な聴き方』を教わりました。

特に印象に残った手法は、『能動的な聴き方』における『白いボールを白いまま返す』という言葉のキャッチボールです。例えば、子供が「明日幼稚園に行きたくない!」と言ったときに、親は「そう...行きたくないの...」と子供の言葉を繰り返し、気持ちを汲み、共感することで子供に安心感を与え、解決法は子供に任せ、子供自身の力を引き出すことで自立を促すというものです。この『言葉の繰り返し』は、オウム返しではなく、子供の気持ちに寄り添い、共感するもので、考えに同感するものではありません。

今まで悩んでいた事に対する解決法を、筋道を立てて説明していただき、受講後自分を見つめ直しました。実践してみると、悩んでいたことがよい方向へ進み始めたのです。

小野先生は、『子育て=自分育て』であり、言葉の奥にある“気持ち”を聴くことは『いのちを聴くことだ』とおっしゃっていました。実際、私もロールプレイを通して自分の気持ちを聴いていただいて心が軽くなり、次に自分がなすべき道を考える余裕が生まれたのです。このセミナーで学んだことは、親子関係のみならず、大人の対人関係にも役立つことを実感しました。

この経験を生かして、大切な人達をサポートしていきたいと思えます。最後に、今回私を送り出してくれた家族、セミナーで出会ったシスター諏訪、このセミナーに私を導いて下さった神に感謝します。

なか  
わだの  
声



## 委員会だより

(文中敬省略)

△6月12日(日) 12名出席▽

### 小林神父の話

《祈り》東日本大震災で帰天された方々に永遠の安息が与えられますように、マリア様のお取次ぎを願って祈りましょう

《以下別資料に沿って説明・議論》

①6月の平日ミサは、24日(金)

②教区聖体奉仕者研修会への中和田からの本年度参加者は、小野、石井(悠)、中島の3名。聖体奉仕者に関する今後の手順は、9月18日を目処に詰める

③9月18日に予定されている堅信式に關し、説明書、申込書を神父より受堅対象者に送る。受堅対象者は主日ミサに來れない場合が多く、積極的に申し込む環境にない。対象者やそのご家族をよく知っている信徒にも、声をかけたりして頂いて、働きかけにご協力をお願いしたい。日程の目処として、7月12日を第一次締切として進める。

④堅信式ミサと祝賀會に關し、以下の検討をお願いする

・先唱を中学生に担当願いたい。

・第一朗誦、聖歌をベトナム語で出来ないか  
典礼Gで検討願いたい↓来月の典礼委員會で検討する(下村)

・祝賀會時に、当日の福音を取り上げて、中学生で寸劇または紙芝居が出来ないか  
・「信徒の會」の設立に至った「想い」、計画など、3名位のメンバーで話が出来ないか  
↓次の例会で詰める(小野)

・子どもたちによるショートプログラムの発表や寸劇が出来ないか

⑤聖堂改修が完了したので、教区に届けるリストと写真の準備を願いたい(写真は作成済み)

⑥また、廃却設備の一覽作成も願います

### 各Gからの報告・提案

#### ●広報(小野)

・広報印刷を、より安価に行なう手段を検討したが、印刷部数が一二〇部と少なく、これ以上安く出来る手段がない。現状のまま了解願いたい

#### ●信徒の會(小野)

・例会報告は広報に掲載済み(省略)

#### ●総務(小山(恭))

・6月5日の町内一斉清掃は、岩淵、福島、小山の3名で対応した

・聖堂内陣カーテンのクリーニングが、委員長の計らいで安価に完了した

《信徒台帳の内容確認に関する議論》

○当該小教区宛の確認依頼状送付で通信費が2万円弱かかる。了解願いたい(小山(恭))

○この仕事は、総務Gにかかる負担が大き過ぎる。年内を期限とせず、もっと時間をかけるなど、負荷軽減の方策は考えられないか。(岩淵委員長)

○突然の葬儀依頼の場合など、洗礼台帳番号、受洗日付などが確認出来ない困る。

○また、信徒の前身属教会に問合わせる以前に、当人に直接確認する方法もある。(小林神父)

○台帳番号や受洗日付が確認出来ない、葬儀をお断りすることになるのか(小野)

○そういうことにはならない(小林神父)

○外国籍信徒は、同胞と互助会的コミュニケーションをつくって、教会への葬儀依頼や費用などの世話にあたっている(下村)

○信徒に都度経緯を説明する必要がないように、ミサ後のお知らせや広報で説明を行ない、問題意識を持って頂いてはどうか(保科)

○よい提案なので、是非やってみる。総務で原稿を起案願いたい(小林神父)

#### ●行事(武田(幸))

・第1回目のバザー委員会を6月5日に行ない、内容、概略日程などを決めた。(本年度はBC地区が中心)

・バザーの開催日は、近隣教会との重複をさけて、10月30日で決定する

・堅信祝賀會はA地区中心で企画するが、前掲の小林神父指示に基き、要理、中学生會、信徒の會と相談して進める。

#### ●福祉(中島)

・お米の抛出を継続している。

・バッチワークのシートをつくって送る奉仕に参画している。布の抛出のご協力をお願いしていく。

●營繕/建物を考える會(福島)

・窓ガラス周りの補修を行なっているが、古いサッシなので、窓枠金具もつくりながらの補修となっている。

・庭の草とりは下村さんの協力で完了

●宣教(井上、石井(悠)、保科)

・湘南キリスト教セミナーが6月11日に鍛冶ヶ谷教会で行なわれ、概ね一二〇名が参加して、盛況裏に終了。

・5月29日に予定されていた第5地区教会学校運動會は、悪天候の為中止

・サマーキャンプは、予定していた施設が老朽化で使用不可となり、急遽再検討して、8月19〜21日に静岡聖光学院の施設で行なうこととなった。

・受堅申込者は現在まだ2名。対象者に働きかけているが、うまく進んでいない。

・中学生會は、7月30〜31日に一泊合宿を計画している。

・要理の夏期学校は、7月24日に「拡大大要理学校」の形で行いたい。(保科)

《泉区民クリスマス》

・連合聖歌隊の練習を、9月から月2回、中和田教会で行いたいという要望を受けているが、受入れ可か?(石井(悠))

・受入れることは問題ない(小林神父)

(議論を経て、結論として)

○ご要望はお受けする

○具体的な日程は、別途調整する

○使用料等は、教会規程に則りお願いする。課題があれば別途相談

#### ●財務(甲斐)

・建設会計：改修工事完了 5月23日

に本年度分支払等勘定処理完了

・一般会計：要理学校に5万円仮払した

#### ●典礼(下村)

・聖週間の反省事項・意見を纏めた。来年度へ反映させていく。(洗足式のやり方、侍者数、長すぎる復活夜夜祭など)

・5月31日に典礼ミーティングを行い「司祭不在時の葬儀マニュアル」に則って試行した。(次回7月31日)

#### ●報告事項(議論済みの項目略)

●バラの手入れは、「外国籍信徒の方々との話し合い」の中で相談していきたい(下村)

#### ●討議事項

●日曜日の掃除

・広報記載の通り、6月より第4週のミサ後に行なう。詳細段取りは、それまでに確定して周知する。

●夏のガーデンパーティーについて

・日時は、7月30日(土) 18時開始

・主催については、「信徒の會」と「教会委員會」との「共催」とする

・参加費は徴収せず。但し、義援金募金箱を置く

#### ●第4週のサロン

・今後、第4週は全員参加の掃除となり、従来第4週に実施していたサロンの扱いを検討する(各委員宿題)

《堅信に関する提案》

・対象が「中学生以上」となっているが、これを小五〜六年生まで拡大したらどうか?(保科)

↓別途、小林神父を交えて、親と要理学校で話し合ってみる(井上)

↓また並行して、他教会の動きを調べてみる(委員長)

●戸塚教会のバーク神父様が米国に行かれていた間、葬儀対応は小林神父が代行する。(小林神父)

(次回委員會は7月9日(土) 9時) 以上